

大腿骨近位部骨折における深部静脈血栓症に関する 後ろ向き調査（過去の診療記録に基づく調査）のお願い

深部静脈血栓は整形外科手術において高率に合併し、命にもかかわる肺血栓塞栓症の原因になります。今回、後ろ向き研究を行い、当院の大腿骨近位部骨折の周術期深部静脈血栓の発生状況について調査し、深部静脈血栓の予防・早期発見・治療に繋げて行きたいと考えています。

本研究は当院倫理委員会の承認を受けて行われます。ご協力いただけましたら幸いです。研究への協力を希望されない場合は研究責任者までお知らせください。

なお、協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。

【研究課題】

大腿骨近位部骨折における深部静脈血栓症の検討

【研究責任者】

麻酔科 植村友美子

【研究期間】

2021年1月～2023年12月

【対象となる方】

上記研究期間中に大腿骨近位部骨折（頸部または転子部）の手術を受けられた方

【本研究の目的】

大腿骨近位部骨折は深部静脈血栓発生の高リスク群です。深部静脈血栓は遊離して肺血栓塞栓症という重篤な合併症を起こすことがあり注意が必要です。過去の報告では大腿骨近位部骨折の0.3%に致死的な肺血栓塞栓症を発症すると言われていています。本研究では、当院の大腿骨近位部骨折の周術期深部静脈血栓の頻度や発生状況について調査し、その危険因子を明らかにし、深部静脈血栓の予防・早期発見・治療に繋げて行くことが目的です。

【本研究の方法と個人情報保護】


本研究は過去に行われた診療データを使用して行います。患者カルテ・診療情報・検査および治療の結果を閲覧しながら、個人を特定するような情報（生年月日、住所、氏名など）を除いたデータベースを作成し、深部静脈血栓の頻度とリスク因子、検査・治療の有効性・問題点および予後について調査します。薬や治療により新たに介入を行うことはありません。患者様の診療に関する情報が外部に漏洩することはありません。研究結果は個人が特定できない形式で学会などで発表されます。

ご不明な点がありましたら研究責任者にお尋ねください。

第26号
令和6年3月4日

倫理委員会審査結果通知書

申請者 診療部麻酔科
部長 植村 友美子 殿

国保水俣市立総合医療センター
倫理委員会委員長 廣 瀬 豊 樹 

課題名：大腿骨近位部骨折における深部静脈血栓症の検討

先に申請のありました上記課題について令和6年3月4日の倫理委員会で審査し、下記のとおり判定しましたので通知します。

判 定	承認	条件付承認	変更の勧告
	不承認	非該当	その他
条件・変更・不承認の理由			